



SCOPH  
Public Health

1月25日  
なごやぬいぐるみ病院  
1月勉強会報告書

作成者 柴田淳平

作成日 1月26日

## イベント名

日時	2013年1月25日 17:00~18:30
目的・対象	<p>【目的】 ぬいぐるみ病院を日本における創始者である窪田先生の講演を聞き、原点を知り今後に繋げる機序とするとともに、世界に目を向けてもらうこと。</p> <p>【対象】 ぬいぐるみ病院、国際医療に興味のある学生</p>
参加人数	16名
活動内容	<p>窪田祥吾先生講演会</p> <p>昨年2012年に行われたIFMSA - Japanの日本総会において、ぬいぐるみ病院を日本に持ち帰った窪田祥吾先生にご講演いただきました。</p> <p>先生本人の個人的背景から、学生の間で得た物、先生ご自身の研究のこと、幸せな最期とは何か。等をお話いただきました。</p> <p>その他、</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ ころっころでの活動の様子</li><li>・ 初期のぬいぐるみ病院の目的</li><li>・ NCDs(Non Communicable Diseases:非伝染性疾患)</li><li>・ 子どもの糖尿病</li></ul> <p>にも言及していただき、学生からも多くの意見が出る盛んな講演会となった。</p>
自由記載欄 (感想、反省など)	<p>今回の企画は、日本総会に行けなかった学生にとってはぬいぐるみ病院の原点を知り、世界に目を向ける機会となった。日本総会参加者にとっては新しい切り口でのお話で、これからの世界の抱える問題や、国際医療で働くことについて、新しい視点の発見が出来たと思う。</p> <p>そうした意味で、今回の講演は参加者全員にとってとても有意義な時間であったと思う。</p>

スタッフ	活動責任者：柴田淳平 運営委員：大羽輝、五嶋嶺、鷺見聰、園田なおみ、脇田祐実
------	---

## 写真



自身の背景について話されている窪田先生



「より良い終末期について大切なことは何か」を考える学生